



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 2 日

1. 出張国名 ブラジル、パラグアイ

2. 出張月 平成 26 年 11 月

3. 出張目的 畑作安定供給プロジェクト現地年次検討会への参加及び
ダイズさび病抵抗性育種プログラムに関する協議：B

4. 成果の概要

- ・畑作安定供給プロジェクト現地年次検討会への参加
会議ではさび病抵抗性育種を共同で実施している3機関から今年度の進捗、来年度以降の計画、課題の遂行上の問題点について報告があり、全員で検討を行った。連続戻し交配によるさび病抵抗性育種については、Nikkei-Cetaparでは当初の計画通り順調に進んでおり大きな問題点はなかった。IPTA-CICMでは連続戻し交配育種がBC5世代まですすんだものの目的の抵抗性個体を得られなかったためBC3世代からやり直すこととなった。INTA-Cerro Azulでは施設の改善により交配の失敗が少なくなり、順調に進捗していた。
- ・ダイズさび病抵抗性育種プログラムに関する協議
IPTA-CICMを訪問し、マーカー分析データの確認、育種のスケジュールの協議、実験データの確認を行った。また、IPTA-CICMの新担当者に、マーカー選抜やさび病菌接種に関する技術的な指導を行った。